

日刊 動労千葉

84.10.16

No. 1767

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

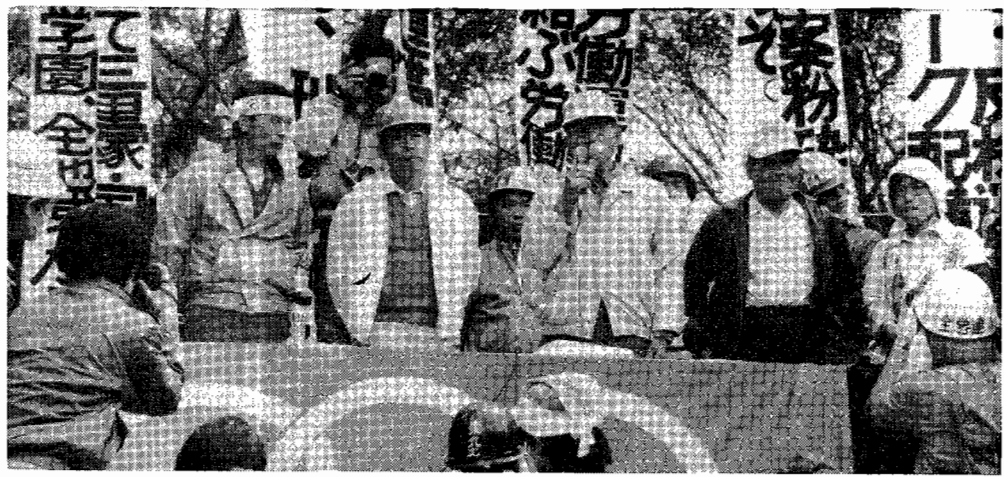
三里塚・国鉄で中曽根を撃つ 10.10速報3

10・10三里塚現地集会は、全国から一四〇〇〇名という大結集を実現し、成田用水粉砕Ⅱ二期阻止！空港廃港にむけ、勝利の日まで闘いぬくことを宣言した。

とりわけ、首切り「三本柱」、「60・3ダイ改」を突破口に十万人首切りという未曾有の攻撃に直面するわれわれは、10・10の五割動員貫徹をストップに総反撃に決起することを確認し、大会以降一カ月間の奮闘はついに再度の五割動員実現の快挙をなすとげた。

これを保障した動労千葉の路線の正しさ、組織力に自信と確信を深め、重大局面を迎えた国鉄―三里塚決戦に勇躍決起しよう。

本号では、10・10集会における中野委員長と9・27用水決戦で逮捕された反対同盟農民の決意を紹介する。



高らかに決意を表明する（左から）萩原進さん、萩原勇一さん、鈴木幸司さん、市東東市さん、伊藤しのぶさん。

成田用水決戦で不当逮捕―奪還された農民の闘う決意

市東東市さん（天神峰・70才）

いかに弾圧されようが微動だにしない。弾圧されればされる程、怒りは火に油を注ぐ。闘いと敵に対する憎悪が必要ということを痛感した。これが三里塚十九年の真髄だ。今日の大結集は反対同盟の正しさを満天下に明らかにした。戸村思想を堅持、発展させ真一文字に進むことだ。権力にするものぞと闘っていききたい。

萩原勇一さん（辺田・55才）

全国の人々、動労千葉の皆さんに数々の激励をいただきありがとうございます。逮捕され、さらに権力に対する怒りが生まれた。闘いはこれから、十九年間の路線を堅持し闘いぬきたい。

伊藤しのぶさん（白旗・34才）

二七日、本当の権力の姿をみた。機動隊が素手のわれわれにたじろいだ。正義性があり、不屈に闘うわれわれにたじろいだのだ。不屈に闘うことで勝てること確信した。大木よねの精神を一人一人がもち、戸村さんのいった「機動隊にひとあわ吹かせる闘い」を実現したい。人民の未来をひらく三里塚闘争に勝利しよう。



動労千葉・中野委員長

10・10五割動員実現の力で二期、十万人首切り攻撃と闘う

動労千葉・中野委員長

第一に、弾圧の中で三里塚闘争がいかに正義かを実体的に証明するものとして成田用水決戦があった。第二に、それは前段の闘いの勝利に集った権力が弾圧を加えてきたものだ。10・10の大爆発で再度用水闘争をひき出し勝利したい。第三に、3・8分裂を再度めぐり出す必要がある。基本原則を堅持し実践したのがわれわれだ。だから10・10の爆発があり、三里塚闘争勝利の展望がある。弾圧に屈せず十九年の蓄積をかけて闘いぬきたい。

鈴木幸司さん（中郷・59才）

成田用水は二期工事そのものだ。今回の闘いで勝利の第一歩をかちとったことを喜び、ますます闘いぬくことを約束する。今後、六ヶ月にわたる工事をめぐる闘いは、中曽根内閣打倒の闘いであることをはっきりさせなければならぬ。「三里塚十九年の闘いをやってきてよかった」と、留置場の中で考えてきた。三里塚の闘いが正しい闘いであることを、全国の人々に伝えてもらいたい。

解体攻撃、大規模な合理化、十万人首切り攻撃をめぐる闘いの火ぶたが一挙に切られた。国鉄労働運動をめぐる状況は、日本の未来を決する重大な局面を迎えている。ところが動労「本部」革マルは、当局の提案通り妥結し裏切る挙に出た。しかし、この間のすさまじい攻撃にもかかわらず、全国の国鉄労働者は断固闘いに決起している。3・25を上まわる国鉄労働者が決起している。本日、動労千葉とともに一〇〇〇名で登場している。この力、この闘いがある以上、われわれは国鉄労働運動をめぐる決戦に勝利することが出来る。三里塚も重大な局面を迎えている。反対同盟Ⅱ三里塚闘争機体の攻撃がくりひろげられている。しかし、成田用水決戦は、第二、第三の拠点を成田に形成した。われわれは「三里塚―国鉄で中曽根を撃つ」この闘いに全国の労働者人民が結集することの中に未来がある、と確信する。動労千葉は3・25以上の困難な状況を突破し、3・25を上まわる動員を実現した。この力を二期、十万人首切りの攻防に全力を傾注して闘い勝利する。